

八尾高校新聞

発行所
富山県富山市八尾町
富山県立八尾高等学校
新聞編集委員会
印刷
株式会社 なかたに印刷

高啼く理想 道を拓かん きょう146名 晴れの巣立ち



◎普通科総代
山岸 千乃さん(33H)
このたび総代を務めさせていただけるとも光栄に思います。この三年間を振り返るとコロナ禍で様々な制限はありましたが、仲間と助け合いながら日々の学習や行事に取り



卒業生集合

雲雀高啼く上野が丘に 第75回 卒業証書授与式

来る三月一日、本校第一体育館にて第75回卒業証書授与式が挙行される。コロナ禍にあっても、学業、学校行事、部活動に果敢に立ち向かい、百周年を迎えた本校の伝統に新たな一ページを刻んだ。

代表生徒喜びの声

◎卒業生代表挨拶
田知本 遥奈さん(33H)
八尾高校に入学してから、早くも三年が経ちました。この三年間で出会ったかけがえのない仲間と切磋琢磨し合った日々、多くの先生方から受け取った励みや、心を込めて答辞を述べま

校外賞受賞者

高体連 特別表彰	田知本遥奈(33H)
一般表彰	山本あかり(34H)
	秋元 若那(34H)
高文連 文化連盟特別賞	高畑 萌夏(32H)
文化連盟賞	吹奏楽部
	郷土芸能部
全国高体連ボート専門部 優秀選手表彰	林 蒼太(31H)
	田知本遥奈(33H)
	布村 紗雪(34H)
全国福祉高等学校長会理事長賞	清水 康平(34H)
全国高等学校家庭クラブ連盟家庭クラブ員功労者	谷井 綾花(34H)
富山県高等学校図書館協議会賞	加藤 葵(32H)

卒業証書授与式で総代として卒業証書を受けるのは山岸千乃さん(33H)、答辞は田知本遥奈さん(33H)が務める。また、卒業式前日の同窓会入会式では、大平純音さん(32H)が記念品を受領、大谷内凱琉君(31H)が謝辞を述べる。校外賞受賞者は左記のとおり。



八月二十四日、本校第29回卒業生である女優柴田理恵さんと、同じく第56回卒業生であるチューリップテレビアナウンサーの毛田千代丸さんが母校を訪ねた。十月十日に放送された八尾高校百周年記念番組の収録のため、柴田さんの恩師小林欣秀先生や演劇部時代の仲間たちが集い、昔を懐かし

柴田理恵さん来校

く語り合った。その後、吹奏楽部、郷土芸能部などの練習風景を見学し、演劇部の活動場所を訪れた際には、後輩達にアドバイスを送るなど母校愛に溢れる訪問となった。

職業研究会

九月十六日、一年生を対象に職業研究会が実施された。文・理・コース決めの助とするために「教育」「国際」など全七分野で活躍する本校OB・OGの方々から仕事内容、勤労観などを伺った。どんな職業でも相手に明るく関わりやすい雰囲気を出すために挨拶が大切であると言われたCAの言葉が印象深かった。



ボート部 全国高等学校選抜大会出場



ボート部
村上君・下田君

第36回中部高校選抜ボート大会が十月二十二日、二十三日に愛知県東郷町愛知池漕艇場で開催された。男子ダブルスカルに出場した村上陽亮君(21H)、下田迅都君(23H)は三位入賞を果たし、第34回全国高校選抜ボート大会への出場を決めた。全国高校選抜ボート大会は三月十九日から静岡県浜松市天竜ボート場で開催される。

創立百周年記念式典挙行



中を暖かく押し下さるお話に八尾高生としての自覚を新たに

十一月四日に八尾高校百周年記念式典が挙行され、新田八朗富山県知事を始め、富山県議会議員、県教委教育長、富山市長から祝辞をいただいた。厳粛な雰囲気の中で式が進むとともに、出席者は百周年の重みを実感し、式典に参加できる喜びに感謝した。式典の後には、本校OBでカメラマン、映画監督として活躍している今村圭佑氏によるプロモーションビデオが上映された。今村監督はこのビデオの作成にあたり、納得がいくまで何度も撮影直ししたとされ、その妥協を許さぬ姿勢が映像からもうかがえた。ビデオには在校生、卒業生、地域の方々が出演し、その出来映えは想像以上に美しい映像となっており、見る者の心を打った。引き続き行われた講演会では、進路に悩む私たちの背中を暖かく押し下さるお話に八尾高生としての自覚を新たに



たかなき

▼今の若者はほとんどスマホを持っている。スマホが普及し始めた頃は、電話やメールをするだけのツールだったが、ゲームや動画、漫画などのアプリが増えることにより、今や場所や時間に制限されず、快適に過ごすための欠かせないツールとなっている。▼しかし、スマホが普及したと同時にSNSではいじめや犯罪も増えていった。また、脳が刺激を受け続けることやコミュニケーション能力が低下するなど、将来の生活にも支障を来す恐れがあるとされる。その悪影響は多くの評論家が指摘しているし、ネットでググればたくさん出てくる。しかし、スマホの害を自分のこととして考えている人はどれだけのいるだろうか。今やスマホの快適さに溺れた私たちは、現実の世界に目を背け、背後に控える大きなリスクにも鈍感になっている。▼改めて何の考えもなしにスマホを使い続けることにについて考えてみたい。私たちの現実世界には苦しみや悲しみがたくさんある。時にはそのストレスに押しつぶされそうになる。しかし、真の喜びや感動は現実世界には存在しない。スマホの快適さに溺れることなく、勇気を持ってリアルな世界に一步踏み出す、新たな景色が見えてくるのかもしれない。(S・M)

令和五年度前期生徒会執行部発足 統投 五十嵐陽大会長 (22H)

八名の役員に任命書

十一月十六日、令和五年度前期の生徒会長を決める信任投票が行われ、多数の信任を得て五十嵐陽大君 (22H) が前年度後期に引き続き生徒会長に選ばれた。十一月二十三日には生徒会長を始めとする新執行部に任命書が手渡され、新たな執行部が発足した。



令和五年度前期生徒会役員生徒会執行部

会長	五十嵐陽大 (22H)
副会長	山岸松太 (21H)
書記	清水龍也 (21H)
副書記	前田龍太郎 (21H)
文書	谷岡宗太 (21H)
会計	桐谷真正 (21H)

会全体で共有し協力していきます。

部活動受賞の記録

ボート部

第43回北信越国民体育大会少年女子シングルスカルで田知本遥奈さん (33H) が2位に入賞し、第77回国民体育大会への出場権を獲得した。また、少年男子舵手付クワドルブルのクルーとして林蒼太君 (31H)、木倉圭哉君 (31H)、村上陽亮君 (21H) が、少年女子舵手付クワドルブルのクルーとして秋元若那さん (34H)、布村紗雪さん (34H)、関水姫さん (22H) がそれぞれ3位に入賞した。田知本さんは、八月のインターハイ女子シングルスカルで4位に、十月の国民体育大会本戦では8位入賞を果たした。

ソフトボール部

第18回富山市民体育大会において八尾・富山第一・呉羽高校合同チームを結成し2位となった。また、令和四年度北信越国体では山本あかりさん (34H) が本県少年女子チームの一員として参加し3位を受賞した。

吹奏楽部

昨年七月の第50回富山県吹奏楽コンクール高等学校B部門で金賞を受賞し、県代表に選ばれた。その後

県代表として臨んだ第63回北陸吹奏楽コンクールでは銀賞を収めた。



第63回北陸吹奏楽コンクール

賞した。

美術部

第47回富山県青少年美術展デザイン部門で、下尾彩花さん (11H)、石田野々香さん (12H)、池田菜々香さん (23H)、澁谷侑大君 (23H)、三江和歌さん (23H)、山本和希さん (23H)、小坂口美穂さん (32H)、小塚百華さん (33H)、為井大和君 (33H)、中村優理香さん (33H)、濱野稀羽さん (33H) が、絵画部門で福島愛生さん (23H)、大久保聖哉さん (31H) がそれぞれ入賞を果たした。

第22回北陸三県絵画デザイン・ハイスクール選手権では、下尾彩花さんが佳作に選ばれた。また、下尾さんが第34回読書感想画中央

はひろしま神楽甲子園

学部学科研究会

十二月十六日に、二年生を対象にした学部学科研究会が行われた。人文科学、社会科学、教育、理工、医療、看護など全



企業・施設見学

・東京証券取引場
・国会議事堂
・豊洲市場
・読売新聞
・東京都庁
・前橋工科大学では、本校OBの話を伺い、東京工科大学では、大学の大きな学生の様子から、大学の情報を知ることができた。また、早稲田大学ではキャンパスを巡る中で学部学科の特徴を垣間見、博物館の姿にその歴史を感じた。



ふるさとの学び舎記念植樹式

学校創立百周年を記念して、十二月十三日記念植樹式が開催された。当日は本多同窓会長、富山緑化推進機構から石田専務理事を来賓として迎え、前庭生徒玄関横花壇に紅梅と白梅を一本ずつ植樹した。

編集後記

学校創立百周年を迎えた令和四年度、この記念すべき年に卒業を迎えられる皆様に心よりお祝いを申し上げます。八尾高校の新たな

八高永遠プロジェクト

八高永遠プロジェクトとは、少子化が進む学校再編が叫ばれる中、八尾の文化と人との繋がりを基盤としたこの八尾高校を再認識し、永遠にあり続ける決意で、在校生も卒業生も地域住民もみんなで作る、百周年事業にしようと呼びかけられた名称です。

プロモーションビデオ、校歌・応援歌の音源完成

九月一日、三年ぶりに開催されたおわら風の盆。その初日に今村圭佑氏によるプロモーションビデオの撮影が始まりました。母校の魅力がたっぷり詰まった作品は十一月四日の創立百周年記念式典で初公開された。ノイズがひどかった校歌音源や、覚えていた人



百年への門出にあふわしい紙面を構成したつもりです。晴れの日の紙面に協力いただいた先生方、生徒の皆様がこの場を借りて感謝申し上げます。